

# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第3号

令和2年(2020年) 5月11日(月)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

## 学校が再開されました

校長 秋本 泰宏

5月7日(木)、半日の日程でしたが、久しぶりに学校が再開されました。

登校の様子を学校の下で見守っていると、少し緊張しながらも元気よく登校する生徒の姿を見ることができ、ほっと一安心。そして、長期の休業であったにもかかわらず、生徒の生活リズムを狂わすことなく保っていただいた保護者の方の努力に感謝した朝でした。また、あいさつ運動などが予定された日でもないのに、「子供たちが心配だから」と見守っていただいた地域の方に感謝した朝でもありました。

3時間目の授業の様子を参観してみると、3年1組では、「5枚のトランプを先にひく方が有利か後に引く方が有利か」という数学科の確率の課題に取り組んでいました。3年2組は、国語科で小説を読み取る根拠となる箇所を教科書から探し出す活動でした。2年生は、理科で「水より密度の大きい物体が水に浮くのはなぜか」という課題に対する答えを説明できるようグループで確認し合っていました。1年1組は、英語科でbe動詞の内容が始まったところでした。新しいファイルに自分の名前を一生懸命書き込み、これから頑張るぞという姿が印象的でした。1年2組では、昆虫の体のつくりを勉強していました。



3年生数学科の授業の様子



2年生理科の授業の様子



1年生英語科の授業の様子

学校の中ではごく普通の光景でしたが、今日はこの光景を改めてすてきなと感じました。学び舎があって、生徒がいて、授業が開かれている。この幸福感…。

新型コロナウイルスからの感染リスクはなくなっていない。このタイミングで学校を再開することに、賛否両論はあります。しかし、子供たちが学ぶ姿は、明日への希望であることに間違いありません。ご家庭と地域、学校が、今できる最大の予防をしながらこの光景を続けていきたいと思っています。ご理解とご協力をお願いします。

### 【生徒の日記から】

- ・ 久しぶりに学校へ行って、みんなと会った。(3年生)
- ・ 久々の登校日だった。全体的に復習が多かった。(3年生)
- ・ 今日は久しぶりに学校があった。3時間だけだったけれど、もし、6時間目まであったらもっと疲れるだろうなと思った。(2年生)
- ・ ゴールデンウィーク明けの中学校だったけれど、いろいろとしっかり学べたし、頭に入ったので良かった。(1年生)

## 休み中の生徒の様子について～生徒の日記から～

報道では長い休業のため、子供たちについて「ゲームばかりで、生活リズムが乱れる」や「ストレスがたまり、ものや弱いものにあたってしまう」など、様々なことが懸念されています。学校を再開するにあたり、錦中学校の生徒が生活のリズムを崩さず、落ち着いて登校できたのは保護者の方の工夫と努力により、家庭での過ごし方が充実していたためだと感じています。ありがとうございました。

生徒の日記を見させてもらうと、学習、遊び、手伝いなどバランスのとれた生活をしていることがよく分かりました。そして、その生活の中では日頃忙しくてできない家族の中の楽しい会話があったことも容易に想像できました。



### 【生徒の日記から】

- ・ 夕食にゴーヤチャンプルと鶏肉を焼きました。あとプリンを作りました。(3年生)
- ・ 英語の自主学習と単語に取り組みました。筋トレをしっかりとしました。(3年生)
- ・ 曾祖父の命日だったので、曾祖母のところに行ってお話をしました。(2年生)
- ・ 母と一緒にチーズケーキを作ってとてもおいしかったです。(2年生)
- ・ やはり母のご飯が一番おいしかった。母にはかなわないと思いました。(2年生)
- ・ 高校の周りを1周走った。その後、兄と母と一緒に歩いた。よく歩いたので疲れた。(2年生)
- ・ 庭を父と一緒にモデルチェンジした。人工芝や水道の周りをセメントで固めた。(1年生)
- ・ 父の田んぼの手伝いを兄としました。田んぼの手伝いは難しいことが分かりました。(1年生)
- ・ 父とボール投げをした。楽しかったです。(1年生)
- ・ 母と一緒に運動をしました。縄跳びをしました。(1年生)

## 新しく始まった『キャリア・パスポート』

先日、本年度の学年集金のお知らせを配付しましたが、本年度の教材の中にこれまでになかったファイルが入っていたことにお気づきだったでしょうか？

このファイルは、本年度から始まる『キャリア・パスポート』作成のためのファイルです。

この『キャリア・パスポート』は、学活の時間を中心に活用し、自分がこれまで学校や家庭、地域で学んだり、体験したりしたことを振り返りながら、これからの学習や生活の見通しを立て、将来の生き方を考える道具として活用したいと考えています。

また『キャリア・パスポート』は、少なくとも錦中学校区の小学校1年生から中学校3年生までの9年間活用できるようにと考えています。

私たち教職員は、『キャリア・パスポート』を通じて、生徒と対話的に関わり、生徒一人ひとりの学習目標の設定や見直しなどを小中学校の校種を超えて支援し、個性を伸ばす指導へとつなげていきたいと考えています。

